

松江城山稻荷神社式年神幸祭

島根県松江市
国定
松江城

日本三大船神事



日本三大船神事

ホーランエンヤ

ホーランエンヤ



五大地権伝馬船



馬潟



矢田



大井



福富



大海崎

お問い合わせ

開催日前日までのお問い合わせ ※受付時間[平日] 8:30~17:00まで(土日祝祭日を除く)

権伝馬踊・船行列については
伝統・ホーランエンヤ協賛会 TEL(0852)24-1112

神事については
松江城山稻荷神社式年神幸祭奉賛会 TEL(0852)67-2633

阿太加夜神社式年神幸祭委員会 ※中日祭当日も同じ
TEL(0852)52-3468

詳しくはホームページをご覧ください
<https://www.ho-ran2019matsue.jp/>
松江観光協会のホームページからもご覧になれます

開催日当日のお問い合わせ ※各日、各会場で受付時間が異なります

松江会場実施本部 TEL 080-8856-2079 / 080-8080-3414
※受付時間[渡御祭] 8:30~16:00 [還御祭] 8:30~18:00

東出雲会場実施本部 TEL 070-3982-7358
※受付時間[渡御祭] 8:30~17:30 [中日祭] 8:30~17:00 [還御祭] 8:30~12:00

会場周辺は混雑が予想されますので、なるべく公共交通機関をご利用ください

2019

渡御祭

5月18日 土

松江城山稻荷神社 大橋川 意宇川 阿太加夜神社

中日祭

5月22日 水

意宇川 阿太加夜神社

還御祭

5月26日 日

阿太加夜神社 意宇川 大橋川 松江城山稻荷神社

水の都 島根県松江市

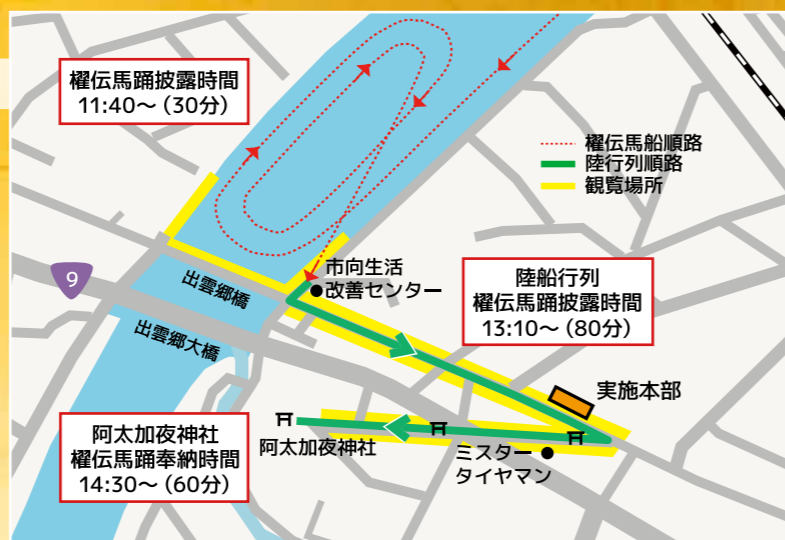
渡御祭 5月18日 土

時刻	行事内容
8:30	祭典開始(城山稻荷神社)
9:20	御神輿陸行列出発 權伝馬船集合(宍道湖大橋南詰)
10:00	御神輿陸行列到着、乗船(松江大橋北詰)
10:05	權伝馬船奉納開始(大橋川)
12:40	權伝馬船奉納終了、船団編成
13:25	船団出発(くにびき大橋東側)
14:10	船団解除(馬潟沖)、意宇川自走
15:10	權伝馬船到着(出雲郷橋) 權伝馬船奉納開始(意宇川)
15:40	權伝馬船奉納終了(全船寄港) 御神輿上陸、陸行列出発(出雲郷橋)
16:00	御神輿陸行列到着、祭典開始(阿太加夜神社)
17:00	祭典終了



中日祭 5月22日 水

時刻	行事内容
10:00	祭典開始(阿太加夜神社)
11:30	權伝馬船集合(出雲郷橋)
11:40	權伝馬船開始(意宇川)
12:10	權伝馬船終了、陸船準備
13:00	出発式
13:10	陸船行列出発、權伝馬船開始
14:30	陸船權伝馬船終了、陸船行列到着(阿太加夜神社) 權伝馬船奉納開始(神社境内)
15:30	權伝馬船奉納終了
16:00	祭典終了



還御祭 5月26日 日

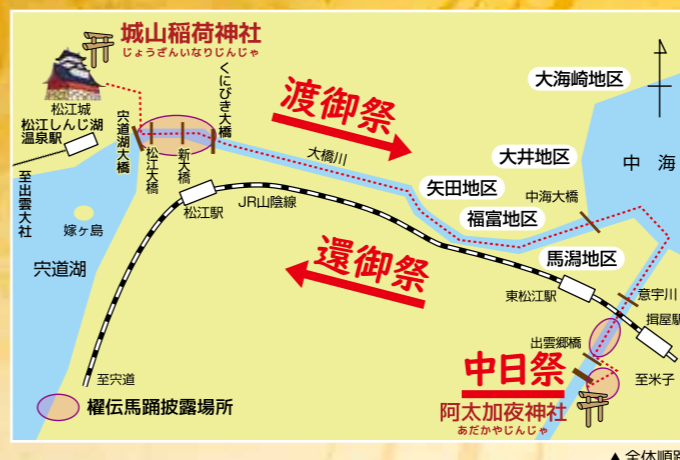
時刻	行事内容
8:00	祭典開始(阿太加夜神社)
9:00	御神輿陸行列出発 權伝馬船集合(出雲郷橋)
9:30	御神輿陸行列到着、乗船(出雲郷橋)
9:35	權伝馬船奉納開始(意宇川)
10:05	權伝馬船奉納終了、意宇川自走、馬潟沖船団編成
11:05	船団出発(馬潟沖)
11:50	船団解除(くにびき大橋東側)
12:20	權伝馬船奉納開始(大橋川)
14:45	權伝馬船奉納終了
15:00	御神輿上陸、陸行列出発(松江大橋北詰)
15:25	權伝馬上陸、陸行列出発(松江大橋北詰)
15:45	御神輿陸行列到着、祭典開始(城山稻荷神社)
16:30	祭典終了
17:10	權伝馬船陸行列神社到着、權伝馬船奉納
18:00	松江城山稻荷神社式年神幸祭全日程終了



松江城山稻荷神社式年神幸祭は、その勇壮な掛け声から「ホーランエンヤ」という名で親しまれています。松江城内に祀られた稲荷神社の御神霊を、約10km離れた東出雲町の阿太加夜神社(あだかやじんじや)に船でお運びし、7日間にわたって五穀豊穡や市民の幸福を祈願し、再び稲荷神社にお帰りになる船渡御祭です。

今から約370年前の慶安元年(1648年)、出雲の国は天候不順で大凶作が予想され、これに心を痛めた時の松江藩主松平直政(公徳川家康公の孫)が、稲荷神社の御神霊を阿太加夜神社にお運びし、何日にもわたり豊作の大祈禱をさせました。見事に満願成就したことから、以来10年から12年毎に行われておりましたが、現在は10年毎の式年神幸祭として行われるようになりました。

古くから日本三大船神事の一つといわれ、絢爛豪華な權伝馬船が行き交う水の都松江が誇る全国最大級の船祭りです。



還御祭 - かんぎょさい -

7日間の大祈禱を終え、阿太加夜神社に安置されていた御神霊が、初日の渡御祭とは逆の経路をたどって、もとの城山稲荷神社にお帰りになる船渡御祭です。

五大地の人々は再び權伝馬船を繰り出し、絢爛豪華な船行列でお供をし、大橋川で一糸乱れぬ權伝馬船を披露します。そして、陸路稲荷神社境内を目指し、厳かな祭礼の後、權伝馬は全身全霊最後の力を振り絞り權伝馬船を奉納し、9日間に及ぶ神幸祭は幕を閉じます。

權伝馬船 - かいでんません -

權伝馬船が神輿船の曳き船を務めるようになったのは、文化5年(1808年)の御神幸の途中、風雨が激しくなり神輿船が危険な状態になったのを、馬潟村(まかたむら)の漁師が助けに向かい、阿太加夜神社まで無事送り届けたことに始まります。以来、馬潟村の權伝馬船が神輿船の曳き船を務めるようになり、順次10年毎に矢田、大井、福富、大海崎の權伝馬船も参加するようになりました。この5つの地区のことを五大地(ごだいち)と呼びます。

渡御祭 - とぎょさい -

城山稲荷神社での祭典後、御神霊を厳かな陸行列で大橋川河畔へお運びし、神輿船に移して阿太加夜神社までお運びする船渡御祭です。

4つの大橋の間では、色とりどりの装飾をした5隻の權伝馬船が、勇壮かつ華麗な權伝馬船を奉納します。約100隻、約1kmにも及ぶ大船団は10km程離れた阿太加夜神社に向かいます。到着地の意宇川で再び權伝馬船船を奉納した後、御神霊は神社に安置され、7日間にわたる大祈禱が行われます。

中日祭 - ちゅうにちさい -

神幸祭の中日に、阿太加夜神社で行われるお祭りです。權伝馬船の踊り手たちが陸船に乗り替え、船上で權伝馬船を披露しながら参道を進み、境内で再び踊りを奉納します。



松江城山稻荷神社 式年神幸祭

